

第295号・2025年4月1日 (火)

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

内線 片平 (91) 5029

022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX)

<https://tohokudai-kumiai.org/>

編集・コア編集委員会



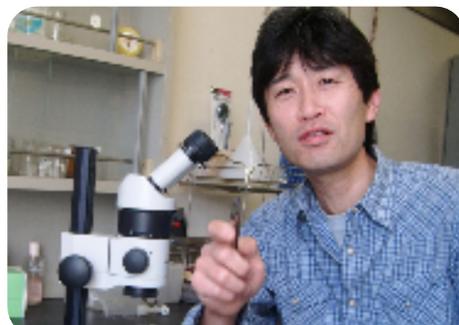
*** 学術会議法人化NO!
アカデミーの尊重を!**

*** 未払いなくせ! ディー
セント・ワークを!**

働きやすい職場づくりのため、

私たちの身分を守るため、ぜひ組合へ

執行委員長 片山知史



片山知史委員長

今春に新しく東北大学の教職員として入職された皆さんに、心より歓迎のメッセージをお伝えいたします。

東北大学には教職員で作る職員組合があります。私たちの身分を守り、待遇を改善するために日々活動しています。では、なぜ私たちが組合を組織しているのでしょうか。

まず、私たちの働き方や待遇は、大学が一方的に決めるのではなく、教職員の意見を聞く必要があります。特に不利益な変更については、組合との協議を経なければなりません。組合は職場のルールを

決め、職場を良くする重要な組織なのです。

一方、私たち労働者は、雇われの身であり弱い立場です。そして理不尽なことがあっても、一人ではなかなか解決できません。皆さんご存知

のように、東北大学では2018年春に非正規職員の大量雇い止めが行われ、その後も雇い止めや解雇が続いています。賃金不払いやサービス残業も頻発しています。そのような中私たちは、再雇用職員の所定労働時間の短縮方針撤回、10年雇い止め対象者の雇用継続等を勝ち得ることができました。

ぜひ皆さん、職場の仲間とスクラムを組んで、安心して楽しく働くことのできる職場作りのために、そして私たちの待遇を良くするために一緒にとりくみましょう。

東北労金をご利用ください

※コンビニエンスストア等のATM引出し手数料

実質0円

※住宅ローンや車のローンなどの各種ローン

組合員は金利引下げ!

教職員共済

教職員のための制度です

- 教職員賠償 ⇒ 総合共済
- 病気・ケガ ⇒ トリプルガード
- ケガ・賠償 ⇒ レスキュースリー
- 災害 ⇒ 火災共済
- リタイア後 ⇒ 年金共済
- 死亡・重度障害 ⇒ 新・終身共済
- 自動車事故 ⇒ 自動車共済
- ・・・自動車共済は『事故あり等級表 (二重の負担増)』なし

配偶者扶養手当の廃止、教授職の昇給圧縮 といった不利益変更について、 当局は合理的な説明をせず (3/17 団体交渉)

3月17日、団体交渉が行われました。労務担当の山下理事は組合からの要求に対し、通り一遍の返答に終始した一方、不見識な発言が散見されました。

配偶者扶養手当の廃止についてその必要性を質しましたが、減収になる対象者の心に伝わるような説明は全くありませんでした。

教授職が標準的な評価では、昇給がなくなる問題について強く見直しを求めたところ、評価の割合や部局への配分について、当局が再検討することになりました。

非正規雇用職員へのボーナスについては、今回も前向きな発言がありませんでした。当局が「検討する」と発言してから数年も放置されていることに、強く抗議しました。

医療職員の過去の未払い賃金について、当局は大学病院の赤字財

政を理由に、2023年6月から11月までの6か月分のみを支払いを提案しました。私たちは、未払い賃金は財政状況に関わらず支払うべきであること、10分/日では不十分であること、6か月分ではなく3年遡りとして支払うことを要求しました。支払期間については、当局が再検討することになりました。

明について、当局は一切を拒否しました。それどころか、建物の外での資料配布は「許容する」という暴言を發しました。大学病院の財政状況を理由に未払い賃金の支払いを圧縮したり、組合活動の権利を制限しようとしたり、理事の不見識さが目立った交渉でした。

新入職員オリエンテーションにおける組合説明

(片山知史委員長)

全大教東北地区・中部地区合同単組代表者会議 2月16日(日)

2024年人勤対応については、参加大学は準拠することが報告されましたが、2024年4月に遡らない大学も散見されました。

国際卓越研究大学については、申請を準備している大学では、教職員に説明がされていない大学が多く、現場では不安が広がっている。東北大学では、金で論文数を買う実態と、高い数値目標を前に、すでに現場では徒労感があることを報告しました。なお、国際卓越研究大学への申請大学の組合間で連絡会議を行うことになりました。

5. 3憲法を活かす宮城県民集会

とき：5月3日(土・祝) 13時～

ところ：アエル5F多目的ホール

記念講演

新護憲運動ノススメ～「護憲運動は反戦運動であり、人権擁護運動である」～

講師：纈纈厚氏(山口大学名誉教授)

私たちの声を届けよう！

2025第96回メーデー

とき：5月1日(木) 10時～

ところ：仙台市錦町公園(NHK隣)

「働くものの団結で生活と権利を守り

平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

田中熙巳元委員長が、長崎での被爆経験、 東北大在職時の宮城での活動、 退職後の国際的な取り組みを語る



若い世代に対して「頭を突き合わせて議論をする機会が少なくなっているようだ。核兵器がどんな悲惨な状況を作り出すか一人でも考えても何もできない、議論をして、一番ふさわしい行動の形を作っていくことが大事だと思う」と述べました。

ご自身が長崎で被爆した体験や、その後の核廃絶に向けた70年間の粘り強い活動が紹介されました。

兵器使用の脅しがあり、また各地で戦争が続いている中、日本被団協の受賞の意義の大きさを改めて認識しました。

講演会「平和な未来への歩み」が、3月21日、東北大学川内萩ホールで開催されました。



定員500名でしたので申し込みが間に合わなかった方もたくさんいたようです

2024年12月、日本水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。その日本被団協代表委員で、元東北大学職員組合執行委員長の田中熙巳(てるみ)さんによる記念講演会「平和な未来への歩み」が、3月21日、東北大学川内萩ホールで開催されました。

2024年12月、日本水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。その日本被団協代表委員で、元東北大学職員組合執行委員長の田中熙巳(てるみ)さんによる記念講演会「平和な未来への歩み」が、3月21日、東北大学川内萩ホールで開催されました。



70歳を過ぎているとは思えない若々しい東さん

「日本人の長生きをサポートするー活力資源の作り方」をテーマ

2月15日にエル・パーク仙台にて宮城はたらく女性のつどいが開催されました。

まず、職場の交流として4つの現場から今抱えている現状の報告があり、その後今回のゲストである東順子さんによる講話とエクササイズが行われました。

「日本人の長生きをサポートするー活力資源の作り方」をテーマとした講演会が行われました。

「いいこと」ばかり起きる人」の著書である和田秀樹先生の本を紹介しながら、健康寿命への考え方と人生の時間には限りがあるということ、その中で無形資産つまりお金に換算できないものは

今後増えていくであろう100歳の人口に老後どんな形で迎えるか「70歳から

人生100年時代
多元研支部 後藤 洋子さん

①生産性資産⇨働く力
②活力資産⇨健康・外見の力
③変身資産⇨変わる力
と3つに分け、その活力資産を作る行動として「まなぶ・はたらく・生きましよう」

わすかな時間での運動でしたが、汗ばむくらい体を動かすことができ、45名の参加者全員のほとんどから、「ためになった、楽しかった」と感想が寄せられた企画でした。みなさんどうか健康で長生きしましょう！

あそぶ」という3つの行動は「お金・時間・体力」という資源と連動しているという定義を語られました。活力資産を作る方法は運動であり、これからの社会のインフラでもあるので日々のエクササイズは重要である、という事で後半はお楽しみのエクササイズの時間でした。



♪踊るポンポコリン♪の歌に合わせて身体を動かした楽しい時間でした



青葉山新キャンパス散歩

理学部支部 石田 真太郎さん

春が近づいてきた3月に本欄の依頼を受け、何を書こうかと思案の上、この時期の青葉山キャンパス散歩を書いてみることにした。車、バイク、自転車、徒歩…移動手段に応じて見える景色が変わるのは新鮮であり、新たな気づきを与えてくれる。特に徒歩は気分転換と運動不足解消にちょうど良い。青葉山キャンパスは広大で、場所ごとに違った景色が見える。だいぶ前になるが、昨年4月に散歩した新キャンパス(もう10年近くなので別の名前をつけてもよいのでは…)について書こうと思う。

ここから望む広い景色も、学生たちの思い出になっていくのだろう。そんなことを考えながら歩いていくと、ほだなく閑散としたナノテラス関係用地と思



ユニバーシティハウスを望む

新キャンパスはもともがゴルフ場だったこともあり、起伏が適度にあり、日本の他の大学ではなかなか見ないおおらかな雰囲気があり個人的に気に入っている。地下鉄東西線青葉山駅、南出口から丘の上に向かう。農学部図書館が入っている青葉山コモンズを横目に見て丘を登っていく。雪が降ればゲレンデにもなりそうな坂を上るとユニバーシティハウスが並ぶ地区にさしかか

られる空地を通り過ぎる。そして緩いカーブの坂道を上るとナノテラスに到着する。青葉山駅からここまで景色を楽しみながらのんびり歩いて15分くらいだろうか。用務で入ったことはあるが、今回は

新キャンパスはもともがゴルフ場だったこともあり、起伏が適度にあり、日本の他の大学ではなかなか見ないおおらかな雰囲気があり個人的に気に入っている。地下鉄東西線青葉山駅、南出口から丘の上に向かう。農学部図書館が入っている青葉山コモンズを横目に見て丘を登っていく。雪が降ればゲレンデにもなりそうな坂を上るとユニバーシティハウスが並ぶ地区にさしかか



ヤマザクラでちょっとしたお花見

当然施設内に入れないので外を一周しようと裏手に回ると、こちらにも拡張用地と思われる林を切り開いた広場にでる。気配を感じて近辺にある雑木林を何ともなく覗いてみると、トゲトゲの生えたすつとのびた細い幹、タラノキの群生地を見つけた。残念ながら新芽は成長しすぎていて山菜として採取できなかった。取られていないのでまだ注目されていない証拠だろう。キャンパス内の植物採取は規定があるのかどうか…そんなことを考えながらその場を後にした。

女川を核のゴミ捨て場にするな！ 女川原発を廃炉に！の声を大きく

3月23日、元鍛冶町公園で「さようなら原発宮城県集会」が開かれ、参加者は400人を超えました。集会の最後に「原発の使用済み核燃料を女川原発の敷地内に貯蔵する、乾式貯蔵施設の設置が進められている。」

「原発が日本一多い福島県では、知事が使用済燃料の貯蔵施設設置を拒否している。宮城県・女川町・石巻市に、この施設設置計画に同意しないようにと、署名運動が始まっている。」



新潟県で活動している方から連帯のあいさつもありました

「女川原発の稼働STOPと廃炉、再生可能エネルギーの拡大、女川を核のゴミ捨て場にしないため、みんなで粘り強く闘っていくことを決意する。」という内容の宣言を確認し、その後アピール行進を行いました。(編 M)

日程表

*県労連主催(5/24)
「戦争の爪痕をめぐる平和バスター」

編集後記

政府は、2020年の日本学術会議の会員候補6人の任命拒否に続き、現行の日本学術会議法を廃止し、新しく法人化する法案を閣議決定しました。同会議は、戦争への協力を反省し「我が国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し・学術の進歩に寄与する」を使命として創設され、たくさんの勧告や提言をおこなってきました。今回の法人化法案は、政府による介入の意図が明らかです。学問の自由、自主性・独立性を侵害する法案は撤回させなければなりません。ノーベル平和賞を受賞した田中熙巳元委員長の話に拝聴し、その思いを強くしました。(編 M)